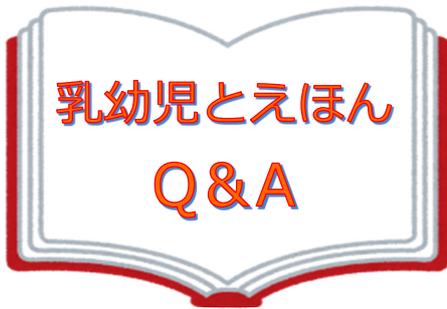


宗像市民図書館だより

No.134
令和4年3月発行URL: <https://munakata.milib.jp/>

なかなか外へ出かけづらい日が続いていますが、おうちで小さいお子さんと絵本を楽しむ機会もあると思います。

今回は、乳幼児と絵本に関する、図書館で日頃いただく疑問や質問にお答えします。



宗像市民図書館の司書がお答えします。

Q 読んでもあまり反応がありません

A 心配せず続けてください

反応には個人差があります。赤ちゃんの場合は視力が発達途中なので、絵本を近づけると見やすくなるでしょう。子どもは、読み聞かせを大人の自分に対する愛情と受け取ります。ぜひ、この先も続けてください。

Q どんなふうに読んだらいいの？

A ゆっくり、やさしく読むことを心がけて

上手に読もうと気負ったり、声色を変えて読んだりする必要はありません。大切なのは普段の声でゆっくり読むこと。ゆっくり読むと、読み方も自然とやさしくなります。やさしい言葉かけは、子どもの心と言葉をはぐくみます。

Q 最後まで聞けません

A 好きなページだけでも読んであげましょう

無理に最後まで読まず、お子さんの好きなページでおしゃべりを楽しんでください。絵本を少しやさしいものに変えてみるのもいいでしょう。あせらず根気よく読み聞かせを続けるうちに聞けるようになります。

Q 同じ絵本ばかり見たがります

A 喜んで読んであげましょう

大人が好きな音楽を繰り返し聞くのと同じように、楽しいことは繰り返し体験したいものです。自分の中で楽しみ尽くしたら、やがて別の絵本に移ります。今は大変かもしれませんが、喜んで読んであげましょう。

📖 親子で楽しむ おすすめ絵本 📖



『ごぶごぶ ごぼごぼ』

駒形 克己 / さく 福音館書店

赤ちゃんは言葉の音やリズムを楽しむ絵本が大好き。「赤ちゃんがお母さんのお腹(羊水の中)にいた時に聞いていた音」をイメージしながら読んでみてください。



『しろくまちゃんのほっとけーき』

わかやま けん / 絵 こぐま社

少し大きくなると、日常生活の場面を描いたシンプルなお話の絵本も楽しめるようになります。しゅっ、ぺたん、ふくふく とホットケーキが焼ける様子は、子どもたちの大好きな場面です。

『でんしゃでいこう
でんしゃでかえろう』間瀬 なおかた / 作・絵
ひさかたチャイルド

未体験のことを想像できる年齢になると、いろんな絵本が楽しめるようになります。親子で、山の駅～海の駅間の電車の旅を楽しんでみませんか。前から後ろからも読むことができます。

メイトム宗像えほんのへやには、乳幼児と絵本に関するさまざまな疑問や質問にお答えする「読書相談員」がいます。お気軽にご相談ください。

問い合わせ先
宗像市民図書館久原分室
(メイトム宗像えほんのへや)
: 0940-36-0212

